

ご応募の際によくある質問と回答(除く文化財修復事業助成)

●ご応募全般について

	質 問	回 答
1	私達の行っている研究・事業は助成の対象になるのでしょうか？	応募要領の1頁目「2.助成の概要」(自然科学・人文科学…研究のみ)、「1.助成の対象」(社会福祉…事業・研究)をお読みいただき、ご判断下さい。
2	私の行っている研究がどの助成分野にあてはまるのか判断できないのですが…。	
3	福祉の小規模事業ですが、応募できますか？	具体的に成果が期待でき、他の地域への発展・普及の可能性のあるものでしたら、応募できます。
4	博士課程の学生ですが、来年の所属が未定ですが応募できますか？	できますが、博士課程論文に対する助成は行っておりません。
5	小学校(中学校・高校・高等専門学校)の教員ですが、応募できますか？	できます。
6	所属先がありませんが、応募できますか？	
7	(人文科学分野・社会福祉分野) 「個人申込」と「法人・団体申込」のどちらで申し込めばよいのか迷っています。	組織を挙げて研究・事業を執り行う場合は、「法人・団体申込」になります。その場合、申込者名は法人・団体の長に限られます。(法人・団体長以外の方が、申込者になることはできません。)
8	現在、海外留学中ですが、4月以降は日本で研究予定です。応募資格はありますか？	4月からの日本での所属先が決まっており、それを明示していただくことが必要となりますが、ご応募いただけます。
9	応募には推薦状は必要ですか？	自然科学・人文科学(文化財修復を除く)・社会福祉分野に応募される方は、推薦状は必要ありません。
10	最終ページに所属機関長の承諾印が必要とあるのですが、これは推薦者印ということでしょうか？	推薦者としての印ではありません。申請者の方が、その所属機関で研究されることを所属機関の長の方が認めているということを確認させていただくためです。(自然科学・人文科学・社会福祉分野)
11	一つの部署から一名しか応募できないということはありませんか？	複数名ご応募いただいても、問題ありません。
12	任意団体等で定款や公印が無いのですが、応募できますか？	できます。定款等特に作られていない場合は、その代わりになるものとして、活動状況がわかる資料等を添付して下さい。(その旨お書き添え下さい) 団体印をお持ちでない場合は、対外活動でご使用の印鑑をご捺印下さい。
13	(自然科学分野) 研究期間が2年ほどかかってしまいますが、応募できますか？	1年を原則とします。研究の性質上1年を超えるものについては、弾力的に対処致しますので、1年を超える研究期間の必要性を申込内容の「研究の目的と意義」や「研究計画」欄でご説明下さい。
14	(社会福祉分野) 施設の改築費や、車輛購入費を必要としています。応募できますか？	単なる施設建設、設備・機器購入等のみを目的とした申込は、対象外となります。(応募要領2頁目「2.助成の概要」)
15	出版助成を行っていますか？	出版のみを目的とした申込は、対象外となります。

	質 問	回 答
16	(人文科学分野) 応募要領2頁目④助成金使途に、「印刷・製本・出版関係費用も、本研究に係わるものに限ります。」とありますが、出版助成は認められていないのですか？	採択後助成金により研究が執り行われ、その結果、成果物として印刷・製本・出版関係費用を必要とされている場合に限り認めております。すでに研究が完了されている案件の、出版のみを目的とした申込は対象外です。

●申込書(助成申込内容)の記入方法・提出等について

	質 問	回 答
17	申込書は両面印刷でも良いですか？	片面印刷をお願いします。
18	申込書は英文で作成しても良いですか？	日本語をお願いします。
19	図や表の挿入は可能ですか？	可能です。
20	カラー印刷は可能ですか？	
21	申込書の記入欄が狭くて書ききれない場合、枠を拡げて書いても良いですか？	申込書のフォームを大幅に崩すことがなければ、各欄の縦幅は多少調整していただいて結構です。 (記入のない欄の削除や、追加等はしないで下さい。)
22	上司が不在がちで募集期間内に承諾印をもらうことが難しいのですが、所属機関長の承諾印は必要ですか？	必要です。募集期間内に間に合わない場合は、印無しものを期間内にご提出下さい。その際、承諾印ページのみ、後日送付予定である旨、付箋等に明記してお送り下さい。
23	異動が決まっていますが、申込書の所属機関は新旧どちらを記入すれば良いのでしょうか？	異動先が決定しており、新所属先の機関長承諾印押印が可能であれば、新所属先をご記入の上(但し書きで異動予定月日をご記入下さい)、申込書をご提出下さい。 異動先から、機関長承諾印がまだもらえない場合は、現在の所属先からのご応募となり、現所属先の機関長承諾印を押印の上、ご提出下さい。その場合、正式に所属先が決定した後に、新所属先等を記入した申請書を差し替え用としてご提出下さい。その際、必ず新所属機関長の承諾印を押印の上、ご提出下さい。
24	所属先・職名が複数あるのですが、マイページに登録する際、どうすれば良いですか？	主たる所属先・職名を、ご自身で一つ選択してご登録下さい。そして、選択されたご所属先の機関長から「所属機関長の承諾印」をいただいて下さい。
25	(自然科学分野) 科研費や他財団等で決定済ないし申請中の研究費を記入する欄について ①件数が多いので、記入欄が足りません。 ②分担研究者の場合、分担金額を書くのですか？ ③協同研究者についての研究費も書くのですか？	①欄を増やしてご記入下さい。(記入例の欄は上書きしないで下さい。) ②分担金額ではなく、プロジェクト全体の決定(申請)額をご記入下さい。 ③代表研究者(申込者)の分についてのみご記入下さい。
26	(自然科学分野) 申込内容にある「本研究課題に必要な研究費総額」とは？「三菱財団申込金額」に、科研費や他財団等の支援決定額や、申請中または申請予定額を合算させた金額を書くのですか？	「本研究課題に必要な研究費総額」とは、お申込み案件の研究に、(三菱財団助成希望期間において)純粋にどれだけの金額を必要とされているかをお伺いしています。 (「三菱財団申込金額」「他からの支援決定額」「申請中または申請予定額」を合算させた金額にする必要はありません。)
27	参考論文は代表研究者のものでないとダメですか？協同研究者のものでも良いのでしょうか？	応募者ご本人の論文が基本です。必要に応じて協同研究者のものも記載して下さい結構です。

	質 問	回 答
28	参考論文は、アクセプト前のものしか用意できないのですが(または、アクセプトされたばかりで原稿しかないのですが)同封してもよろしいでしょうか？	同封可能です。その旨事情がわかるようにしてご提出下さい。
29	(人文科学分野) 参考資料として書籍を添付したいのですが、申込書正本・副本すべてに添付しなくてはならないのでしょうか？	必要な箇所のコピーを正・副すべてに添付下さい。書籍全部が添付資料として必要ならば、書籍を正・副すべてに添付して下さい。 尚、書籍も含め、応募書類はお返しできません。
30	協同研究者が多数いますが、全員記入するのでしょうか？	(自然科学分野) 協同研究者の方(10名以内)は応募マイページに入力してください。協同研究者が11名以上となる場合、入力しきれない方については適宜の用紙にお名前、生年月日、最終学歴・学位、所属機関・現職、主要職歴をご記入の上、助成申込内容に添付してご提出ください。 (人文科学・社会福祉分野) 全員ご記入下さい。 なお、「助成申込内容」協同研究者記入ページの指定欄に入りきらない場合は、このページを適宜コピーしてお使い下さい。(入りきらない部分を次頁に添付して下さい。)
31	(社会福祉分野) 「実施担当者・関係スタッフ・協同研究者」欄に申込者(代表者・代表研究者)の名前を入力する必要がありますか？	申込者(代表者・代表研究者)名の入力はありません。
32	マイページ登録をしたが、返信メールが来ません。	登録されたメールアドレスをご確認下さい。 また、所属機関等で受取メールにブロックをかけている場合があります。ヨシダ印刷サポート担当(TEL: 03-3626-1307、E-Mail: mitsubishi-zaidan@yoshida-p.co.jp)までご照会下さい。
33	マイページのログインができません。	メール受信したIDとパスワードをご確認の上、再度打ち直してみてください。
34	「基本情報Web入力完了」後に、助成申込書PDFに修正を入れたい箇所を見つけたのですが、Webシステムの修正ができません。	財団事務局まで、ご連絡下さい。
35	申込受付期間を過ぎてから不備書類のお知らせメールを受け取りましたが、どうすれば良いのでしょうか？	至急ご連絡した不備書類を追送して下さい。
36	応募要領に申込書は「送付」とありますが、持参しても良いですか？	持参は認めておりません。

●助成金の使用・管理方法について

	質 問	回 答
37	助成金はいつから使えますか？できれば4月から使用したいのですが。	助成決定に伴う諸手続き完了後(例年7月下旬頃の予定)からご使用になれます。 但し、第1回目の助成金振込は10月になりますので、第1回目のお振込前までにご使用になる分につきましては、お立替いただくこととなります。
38	他機関の協同研究者への助成金支払はどのように行うのですか？	当財団からの助成金のお振込みは代表研究者の方宛となります。助成金の運用責任は、収支報告も含め代表研究者の方が責任を持って行って下さい。

	質 問	回 答
39	助成金を大学(所属機関)で委任経理処理しようと考えていますが、大学(所属機関)に直接振り込んでもらうことは可能ですか？	委任経理先宛に直接お振り込みすることはできません。応募者ご本人宛のみとなります。委任経理をされる場合は、ご自身で移し替え手続きを行って下さい。
40	所属機関から委任経理を義務付けられているのですが、委任経理にかかる費用は、助成金から支払うことはできますか？	当財団の助成金からは、委任経理にかかる費用(間接経費/オーバーヘッド)はお支払いできません(応募要領に明記)。
41	助成金を大学(所属機関)で委任経理処理する予定です。採択後に、所属機関宛に「寄附申込書」を作成して提出してもらえますか？	当財団の助成は、応募者ご本人に対する個人助成のため、「寄附申込書」の作成および提出はできません。

●自然科学、若手助成について

	質 問	回 答
42	40歳にまだなっていませんが、一般助成に応募はできますか？(若手助成にしか応募できませんか？)	若手助成の条件を満たす方は、一般助成、若手助成どちらでも応募できます。
43	2019年4月1日現在40歳6か月となりますが、産前産後休暇・育児休業併せて1年3か月休んでいます。若手助成に応募できますか？	産前産後休暇・育児休業期間を除けば、年齢条件を満たしています。博士の学位取得後の期間も同期間を除き10年未満となり条件を満たせば応募可能です。
44	若手助成の応募を考えていますが、必要資金は400万円未満です。応募できますか？	若手助成の助成金額はお一人一律400万円となります。一般助成は少額でも応募できますが、応募金額が400万円に満たない場合は若手助成の応募には合わないと思われます。
45	一般助成と若手助成のどちらに応募するか悩んでいます。両方に応募することはできませんか？	一般助成、若手助成両方に応募することはできませんので、どちらか一方のみに応募して下さい。両方に応募された場合、失格となることがあります。
46	一般助成と若手助成のどちらが助成される可能性が高いですか？	一般助成と若手助成では応募される方は異なり、助成件数の目途や助成総額も異なります。このため一概にどちらが採択されやすいかは分かりません。
47	指導教官から独立して初めて研究を開始する資金ではありませんが、若手助成に応募できますか？	若手助成の条件を満たせば、指導教官から独立して初めて研究を開始する資金ではなくても若手助成への応募は可能です。
48	現在、博士課程にいますが、若手助成に応募はできますか？(一般Q&Aと同じ)	博士課程の方も若手助成に応募可能ですが、博士課程論文に係る研究に対する助成は行っておりません。

●人文科学、大型連携研究助成について

	質 問	回 答
1	応募金額が500万円以下となりますが、大型連携研究助成に応募できますか？	応募内容が大型連携研究助成に相応しいものであれば、応募可能です。
2	どういう案件であれば期間3年が認められますか？	応募頂く案件の内容を見て検討させていただきます。助成期間として3年間必要な理由を明記して下さい。
3	社会的課題解決に向けて、自然科学分野の研究が中心となるものも助成の対象となりますか？	この助成は人文科学分野の助成ですので、代表研究者の方は人文科学分野の方を想定しています。
4	国際協働で行う研究は助成対象となりますか？	代表研究者の方が日本を拠点に研究されている方であれば、海外の研究者の方との国際協働は構いません。